

流域治水プロジェクトの取組事例集 (酒匂川水系)

(酒匂川流域治水協議会)

- 酒匂川水系酒匂川においては、酒匂川水系酒匂川・河内川河川整備計画を令和4年3月に策定し、日雨量355mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備（河道掘削、堤防整備、護岸整備）を進めている。
- 酒匂川の新十文字橋から新大口橋までの約3km区間については、護岸の整備等を行い、治水安全度の向上に取り組んでいます。

実施状況

■河道整備の一例

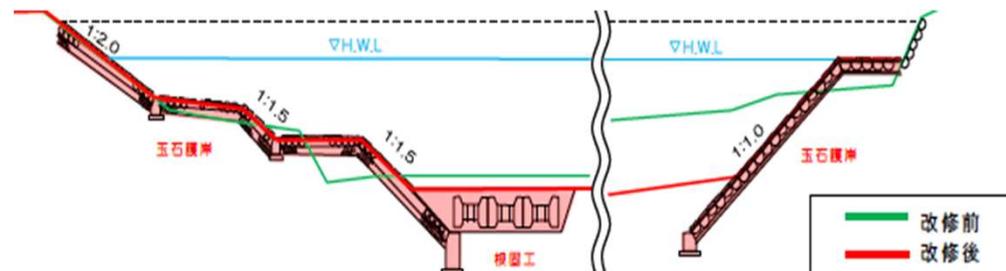
位置図



事業の内容

- 1)事業区間 新十文字橋～新大口橋
- 2)事業延長 L=2.92km
- 3)主な工種 築堤工、護岸整備

横断面図



平面図



整備後



整備後

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	神奈川県	▶		

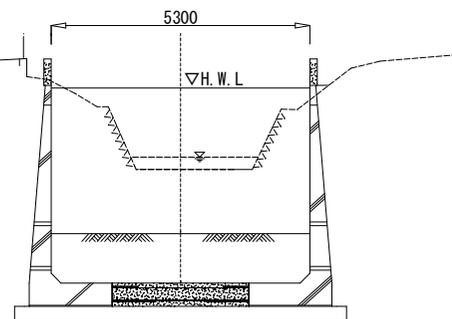
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、小田原市

- 準用河川下菊川においては、台風や局地的豪雨により浸水被害のリスク解消を目的に、県道719号（鴨宮停車場）上流の人道橋から市道0051までの1596m区間について、時間雨量50mmの降雨を安全に流下させるため、護岸整備を行う。

実施状況



整備イメージ



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
準用河川改修事業における河道整備	小田原市	➡		

酒匂川流域において、上記と類似・同様な取組を実施している自治体
小田原市、神奈川県

- 酒匂川水系狩川では、台風による浸水被害が発生したことから、酒匂川合流点から山道橋までの約3 km 区間において、河道の掘削を行い、治水安全度の向上を図っている。

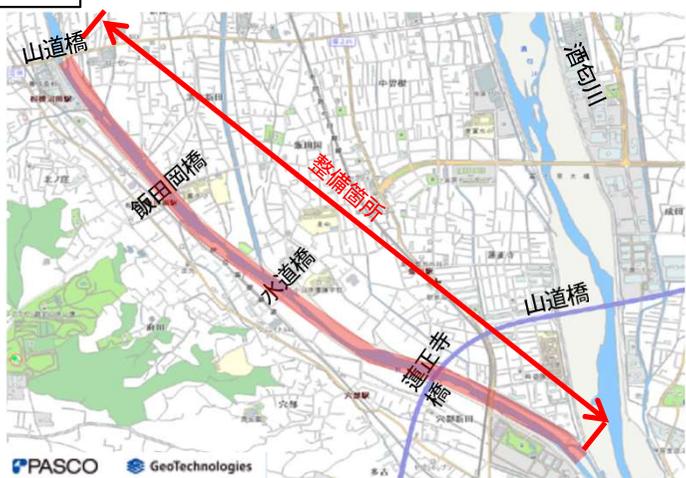
実施状況

■ 河道掘削の一例

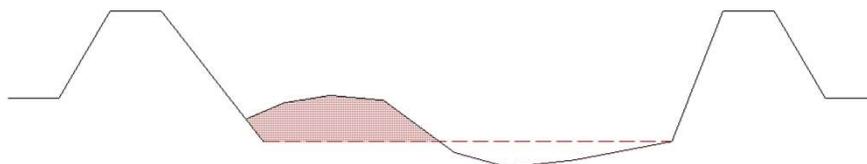
位置図



平面図



横断図



整備前



整備後

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河道内の堆積土砂の撤去	神奈川県	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、小田原市

- 酒匂川においては、台風等による堆積土砂の撤去を進め、治水・利水安全度の回復維持に取り組んでいる。
- 堆積土砂の撤去により発生した土砂の一部については、海岸背後地を波浪災害から守るために、漁業関係者と協議の上、養浜事業に利用している。

実施状況

概要図



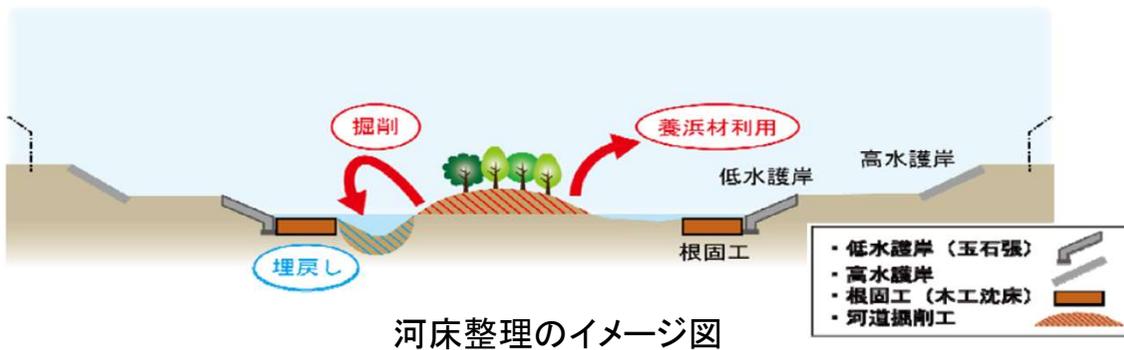
堆積状況



堆積土砂の撤去状況



養浜事業へ利用



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河道内の堆積土砂の撤去	神奈川県	→		

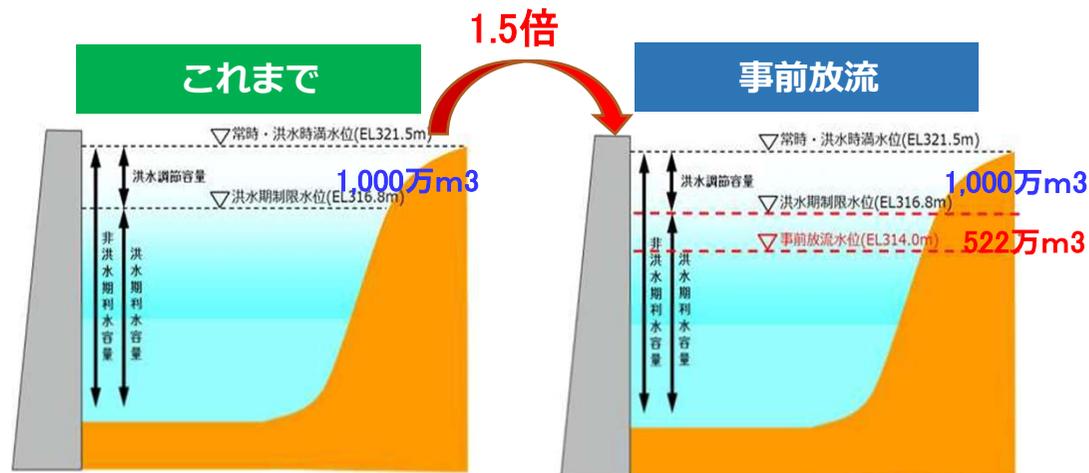
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

神奈川県

- 神奈川県では、台風の接近などにより大雨となることが見込まれる場合に、より多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前にダムから放流して、一時的にダムの貯水位を下げしておく「事前放流」を行っている。
- 三保ダムについては、ダム上流域で560mm（/24時間）以上の降雨が予測される場合は、事前放流によりダム貯水位を事前放流水位まで低下させ、更に洪水調節容量を確保している。

実施状況

■ 洪水調節容量について



基準降雨量以上の降雨が予測される場合、事前放流を行うことにより、洪水調節容量が、従来の約 1.5 倍となる。

既存ダム	有効貯水容量 (万m³)	洪水調節容量 (万m³)	洪水調節可能容量 (万m³)	基準降雨量 (mm/24h)
三保ダム	5,450	1,000	522*	560
玄倉ダム	4.3	0	0	-
熊木ダム	4.8	0	0	-
大又沢ダム	1.3	0	0	-

※ 洪水流量である 800 m³/s を放流可能な水位までの容量。

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
ダムによる事前放流の実施	神奈川県	→		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

神奈川県

- 寺下第一雨水幹線等は、酒匂川流域関連小田原公共下水道事業計画に基づき、時間雨量57mmの降雨による雨水を安全に排除するため、雨水渠整備を進めている。
- 寺下第一雨水幹線の栢山地内から曾比地内までの0.73km区間については、雨水渠整備を行い、内水氾濫への安全度の向上に取り組んでいる。

実施状況

■ 雨水排水施設整備の一例

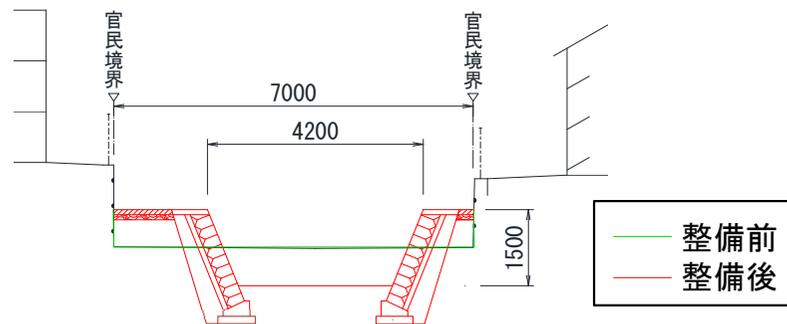
位置図



平面図



横断面図



事業の内容

- 1) 事業区間 栢山地内 ~ 曾比地内
- 2) 事業延長 L=0.73 km
- 3) 主な工種 雨水渠整備



整備前



整備後

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
寺下第一雨水幹線等の整備	小田原市	→		

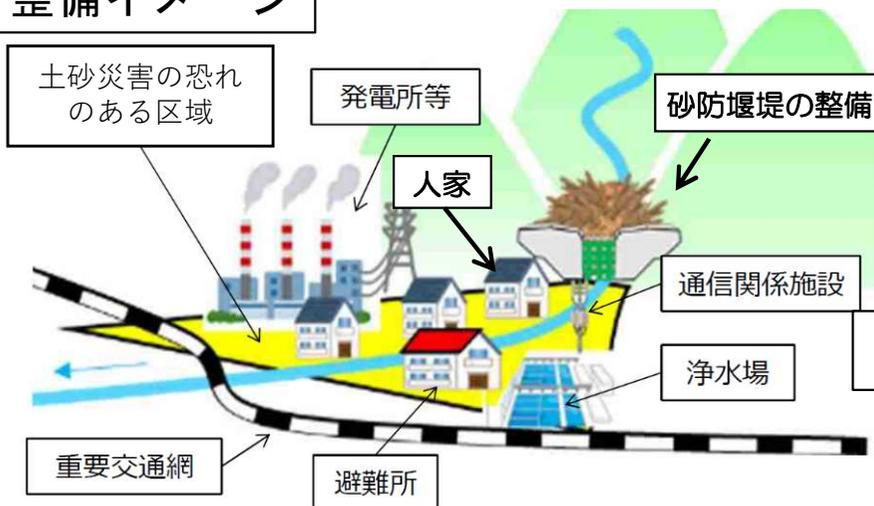
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

小田原市、秦野市

- 酒匂川流域における溪流浸食・溪岸崩壊がみられ荒廃が進んでいる溪流は、今後の豪雨等により土石流が発生する恐れがあり、土石流が発生した場合、土石流が氾濫する区域内にある人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、砂防事業により砂防堰堤の整備を進めている。

実施状況

整備イメージ



現地状況



砂防堰堤の整備例



- 相模湾、河川からの土砂供給量の減少などにより海岸侵食が進んだことから、県は、砂浜の回復・保全を図り、将来に渡る「美しいなぎさの継承」を目指し、平成23年3月に相模湾沿岸海岸侵食対策計画（令和3年3月改定）を策定し、養浜を主体とした、海岸侵食対策に取り組んでいる。
- 令和元年の台風第19号で越波被害のあった、小田原海岸において、高潮対策として護岸改良に取り組んでいる。

実施状況

■ 小田原海岸における護岸整備、侵食対策



■ 侵食対策(養浜)

施工状況

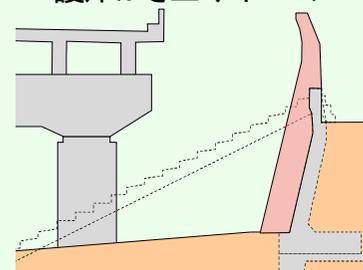


養浜完了



■ 護岸整備

護岸かさ上げイメージ



■ 被災状況



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
小田原海岸における護岸整備、侵食対策	神奈川県	→		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
 神奈川県、京浜河川事務所(関東地方整備局)

- 秦野市では、区域面積5,000㎡以上の開発行為又は建築行為等を行う場合は、原則として雨水調整施設等を設置することにより、流域の雨水貯留機能の向上に努めている。
- また、秦野市では、家庭用雨水浸透ますの設置者に対し補助金を交付することについて、秦野市家庭用雨水浸透ます設置補助金交付要綱を定めている。

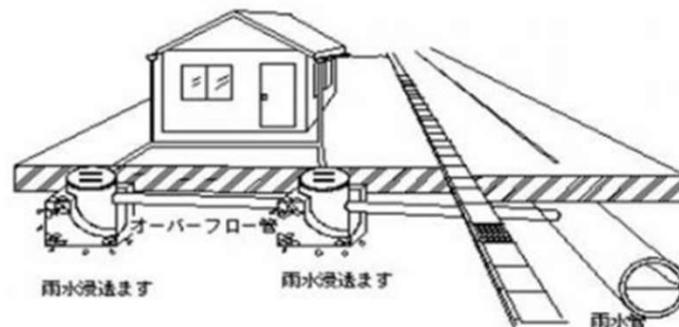
実施状況

雨水調整施設等設置基準

- 雨水調整施設
 - ・ 開発面積が5,000㎡以上の開発行為には雨水調整施設を設置（但し、大根川流域での雨水調整施設の設置は開発面積が1,000㎡以上など）
 - 雨水浸透施設
 - ・ いっ水防止のため周辺に影響がなく、地質により浸透する場合は、積極的に実施
- (1) 雨水浸透施設は、トレンチ式、立て穴式、底床式
 - (2) 雨水浸透容量は、現地実験値及び既設箇所値を検討し決定
 - (3) 設置場所は、宅地内を原則
 - (4) 開発面積が、1000平方メートル以上の事業所等は設置する

家庭用雨水浸透ますの設置補助

- ・ 設置金額の2分の1（1宅地に4基まで、1基の限度額1万2,500円）
- ・ 新築以外でも補助対象



「家庭用雨水浸透ます」のイメージ図

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
雨水貯留浸透施設の整備	秦野市	▶		

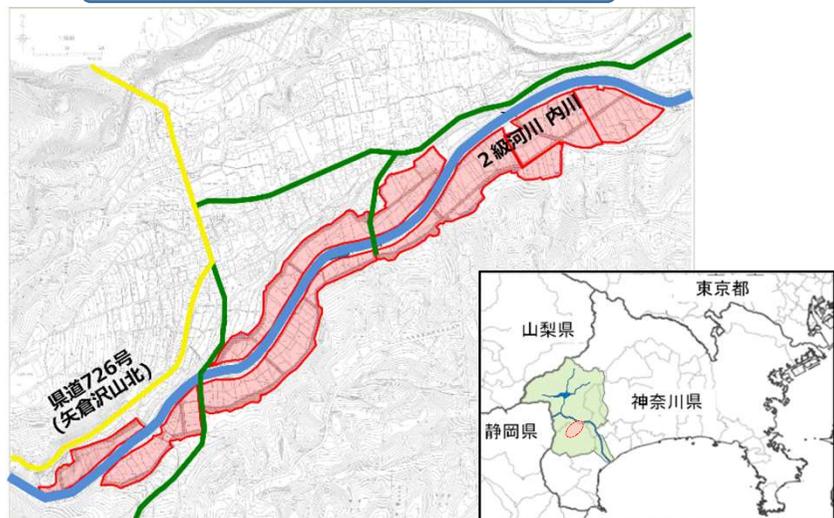
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

秦野市、小田原市

- 酒匂川水系内川において、約2km、幅200mに広がる水田地帯は、狭小・不整形な水田区画であり、かつ、整備のされていない農道や用排水路など、営農条件が著しく低く、水稻の生育管理をはじめ、農道や水路の維持管理等に多大な労力を要していた。
- このため、水田のほ場整備を行うことにより、農地の集積・集約を促進するとともに、地域農業の維持継続・活性化を図る。

実施状況

県営ほ場整備事業 事業計画概要図



整備前の営農状況
不整形な区画



整備後の営農状況



整備前の営農状況

急勾配で小区画 幅の狭い農道



整備後の営農状況



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
県営ほ場整備事業	神奈川県	▶		

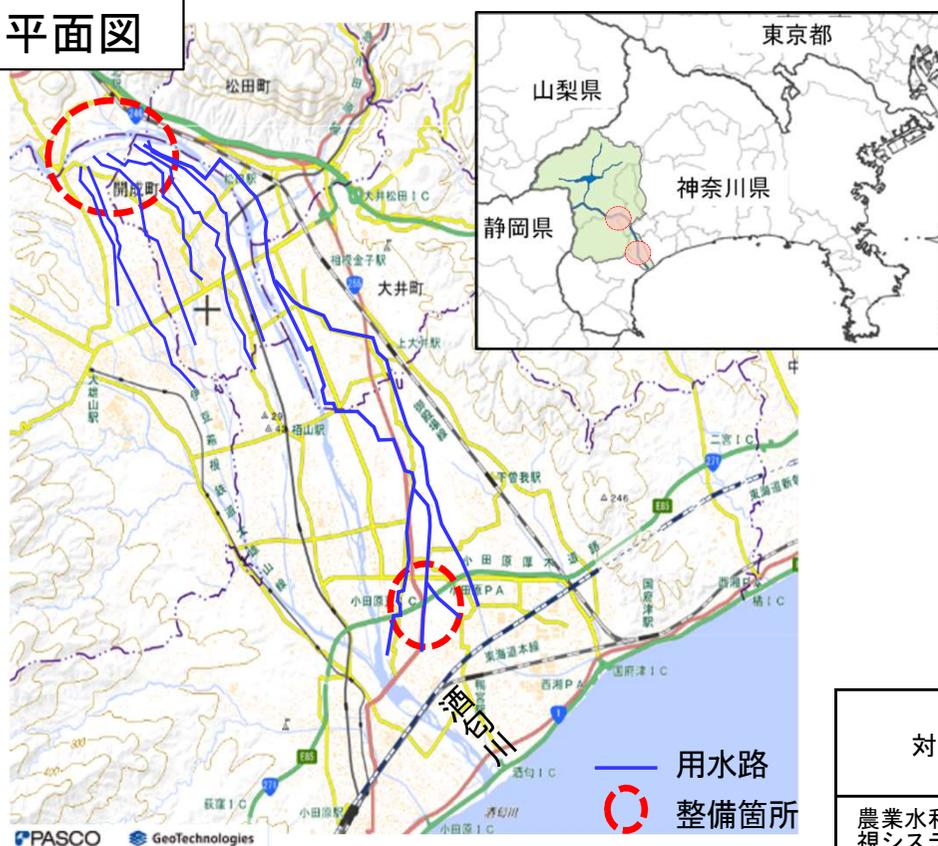
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

神奈川県

- 近年、頻発化・激甚化する豪雨による周辺地域からの排水が増大しており、農業用水路に流入した排水を迅速、かつ、安全に流下させるための水門操作に係る地元の維持管理への負担が増大している。
- このため、農業用水門を自動転倒ゲートに改修するとともに、農業用水門の遠隔操作施設や農業用水路の水位監視施設を設置することにより、維持管理労力を低減し、湛水被害の未然防止を図る。

実施状況

平面図



水門の遠隔操作化



水門の転倒ゲート化



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
農業水利施設遠隔監視システムの整備	神奈川県	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

- 鬼柳地区では、昭和38年に土地改良事業により農業用水路が整備されたが、宅地、商工業地等の開発が急速に進み、各所で湛水被害が多発し、農作物をはじめ、近隣住宅及び国道等の公共施設にまで被害を及ぼした。
- このため、農業用水路の改修により、排水機能の復旧を図り、農業経営の安定化、湛水被害の未然防止による地域住民の安全を図る。

実施状況

【鬼柳地区】

※青線：農業用水路 ※赤線：整備した箇所



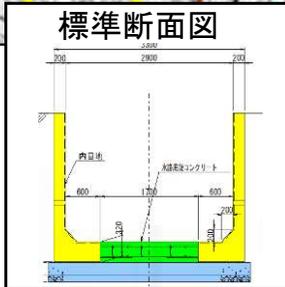
豪雨による溢水状況



水路整備の状況



基盤整備



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
湛水防除事業 (水路整備)	神奈川県	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

- 森林の維持・造成を通じて、水源かん養機能等の森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、必要な箇所について治山施設の設置や森林整備を行っている。

実施状況：松田町寄 治山事業

土砂流出状況



溪岸侵食状況



- ・ 当計画地は、令和元年10月の台風19号の豪雨により大量の土砂が流出した。
- ・ 溪岸侵食の拡大を防止し、溪流の安定を図るため、谷止工6基を施工した。

谷止工施工済み箇所

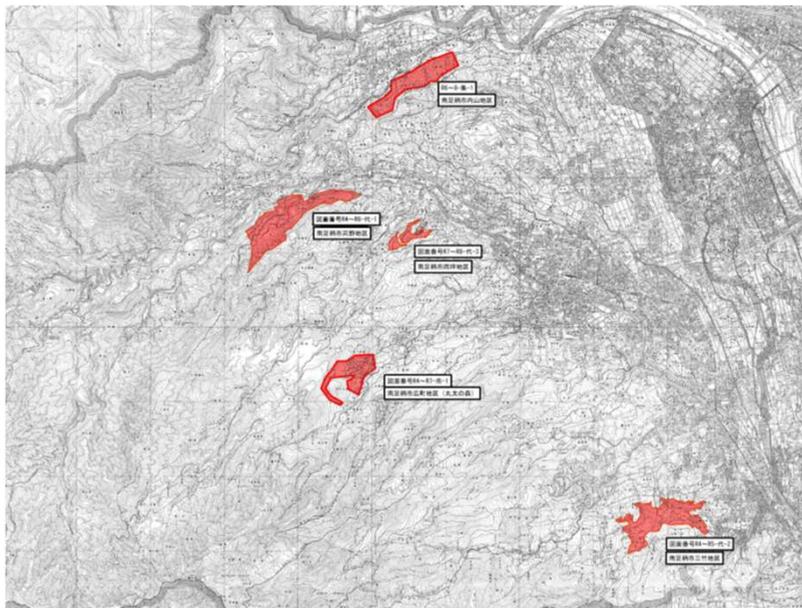


対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
上流域等の治山対策、森林整備	神奈川県	▶		

- 神奈川県が進めている「かながわ水源環境保全・再瀬施策大綱」との整合を踏まえ、地域の水源環境を保全する上で重要な地域水源林を計画的に整備して、水源かん養など森林の持つ公益的機能を向上させる。
- 現在は、第4期市町村5か年計画に基づき森林整備を進めている。

実施状況

位置図



第4期水源環境保全・再生市町村5か年計画
(地域水源林整備)全体位置図



整備前



整備後

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
地域水源林整備	南足柄市	▶		

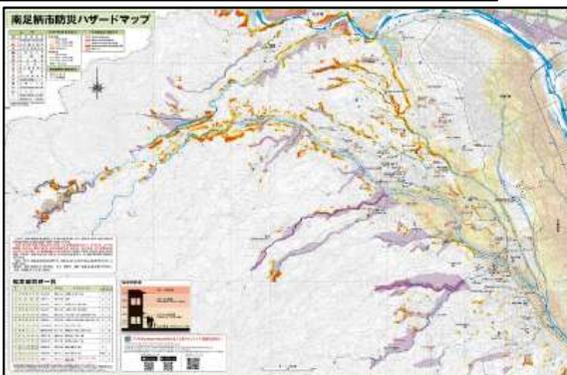
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

南足柄市、東京神奈川森林管理署(林野庁)、神奈川県、松田町、山北町

- 激甚化する豪雨災害に対応するため内水による浸水危険度の周知や自助、共助の促進に向けたソフト対策として内水浸水想定区域図の充実を図る。
- 地域住民に対して内水による浸水危険度周知のため、防災ハザードマップの記事面に「マイ・タイムライン」を掲載、市職員による防災講話を実施することにより浸水被害減少に努めている。

取組内容

南足柄市防災ハザードマップ



南足柄市ホームページ【ミナミ・ナビ】



防災ハザードマップ記事面（抜粋）

防災講話



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
内水浸水想定区域の作成	南足柄市	▶		

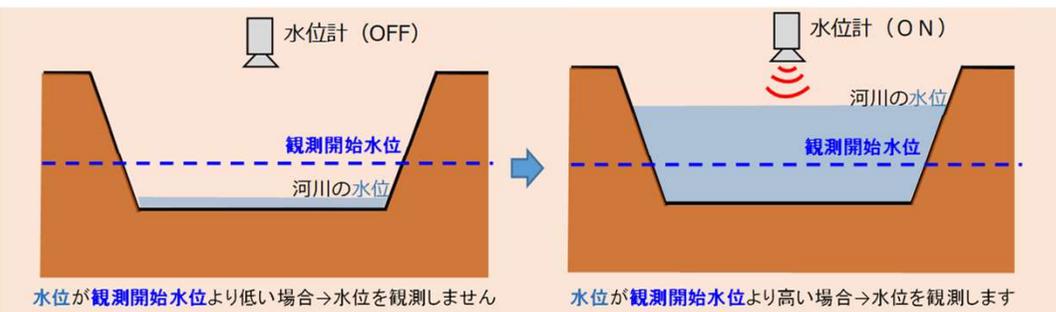
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
南足柄市、秦野市

- 住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、これまで水位計の無かった箇所でも水位把握できるよう、洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置することで、出水時の水位観測により避難体制の強化を図る。

取組内容

■危機管理型水位計とは

- ・ 洪水が発生した際に、河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置する水位計。
- ・ 河川が未整備のため注意を要する箇所や、学校や病院など、重要な施設が周辺にある箇所に設置。



■県ホームページから水位状況を確認することが可能



■危機管理型水位計の設置事例



危機管理型水位計
(酒匂川永安橋)

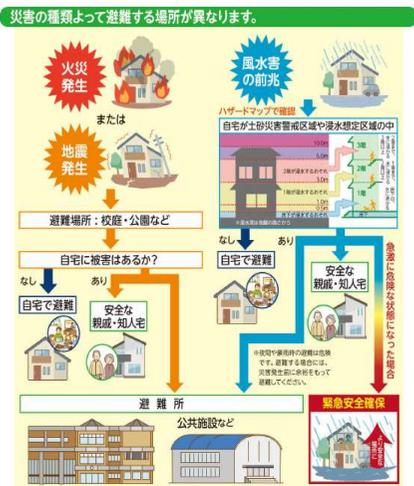
対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

- 山北町が過去（平成26年）に作成した防災ハンドブックは、インターネットを使った災害気象情報の収集や避難情報の変更等の変化事項が反映できていない状況であった。
- 新しい防災気象情報、避難情報について掲載するとともに、混同しやすい風水害対策と地震対策を比較する要領で「防災ハンドブック（2024年度版）」を作成・全戸配付して、住民の防災意識向上を図った。

取組内容

- 令和7年3月に「防災ハンドブック（2024年度版）」を作成・町内全戸に配付した。特に避難行動を促すための啓発内容を重視して作成し、住民の防災意識向上を図った。
 - ・ 風水害と地震災害等を比較して、災害に応じた備えと避難要領を紹介
 - ・ 台風、大雨時の避難に関する基本的な考え方及び新たに設定した「車中泊避難所」について紹介
 - ・ 山北町地域における過去の災害発生事例を掲載
 - ・ 防災ハンドブックの内容に基づいて職員が各自治会で防災出前講座を実施して普及啓発を図っている。



防災ハンドブックの掲載内容(抜粋)

台風・大雨のポイント

台風・大雨は危険な状態になる前に、避難を完了

Point: 避難先との関係(近所)は、避難開始前や浸水想定区域に入っていない(確認)にある場合は、避難所に行く必要はありません。

避難に対する基本的な考え方

● 避難は自ら判断を
災害が発生したとき、置かれたその状況は一人ひとりが異なります。周りの人が避難しているから、自分も避難して大丈夫だと思ってしまうのは危険です。それぞれの状況や判断し、適切な避難行動をしなければなりません。

車中泊避難所

町は、山北町パークゴルフ場の駐車場を「車中泊避難所」として大雨・台風警報や災害時に開放します。「避難所でもパーソナルエリアを確保したい」、「ペットと一緒に避難したい」などの場合は、車中泊用避難用品を自身で準備いただき、山北町パークゴルフ場駐車場への避難をご検討ください。

※トイレや水廻りはパークゴルフ場の設備を使用できます。
※毛布や食料などの避難用品は、ご自身で準備願います。

各自治会へ出向いての防災出前講座の実施

山北町の過去の災害

昭和47年7月12日、当時の共和・清水・三保の山崩部を襲った「47・7豪雨」は、清水・三保地区で死者6名・行方不明者3名、人家・道路網などに甚大な被害をもたらした。12日午後4時に災害救助法が適用されました。

▲ 災害発生後の雨天豪雨
▲ 車が流失した豪雨豪風(第3期台風[技術])



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
防災教育や防災知識の普及	山北町			

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
山北町、小田原市、秦野市、南足柄市、大井町、松田町、開成町

- マイタイムラインの作成を普及させ避難行動をあらかじめまとめておくことで、大雨、台風などの自然災害から身を守るため、マイタイムラインの普及啓発を図っている。

取組内容

- 防災講座、防災講演会を開催
マイ・タイムラインについての説明や作成方法について、マイ・タイムラインに関する知識・理解を深める場の提供している。

防災講座



防災講演会



- 地域防災リーダーの育成
自主防災組織の活動促進を図り地域でのマイ・タイムラインの普及に繋げている。

技能の実地



マイ・タイムライン



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
マイタイムラインの取組推進	開成町	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

開成町、小田原市、秦野市、南足柄市、大井町、松田町、山北町

- 過去に溢水や越波の被害があった市が管理する河川・水路及び海岸に防災用監視カメラを設置している。
- 大雨や台風の際に、自宅付近や通行予定の道路状況などをチェックし、被害を避けて自主的な避難などの参考となるよう、市のホームページや国交省ホームページで公開している。

取組内容

■ 監視カメラの設置状況



井細田排水路



山王川河口

■ 市ホームページや国交省ホームページから河川や海岸の状況を確認することが可能



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川・海岸監視カメラの設置	小田原市	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、小田原市

- 令和4年8月に告示された酒匂川上流洪水浸水想定区域図（足柄橋より上流域）及び山北町内の土砂災害警戒区域の一部修正状況を受けて、令和6年2月に新たに「酒匂川流域土砂災害・洪水ハザードマップ」を作成した。

取組内容

- 酒匂川上流洪水浸水想定区域図（足柄橋より上流域）及び山北町内の土砂災害警戒区域の一部修正状況をハザードマップに反映した。
- 山北町外からの転入者や災害時応援部隊等に対する配布を前提として、地域内の特殊な地名（野背開戸（のせがいと）や湯触（ゆぶれ）等）にふりがなを併記した。
- 住所が不明確となりやすい災害発生場所の認識を一致させやすくするため、神奈川県災害対策地図や自衛隊が使用する地図と同じ「UTM座標」を表記するとともに、著名な建物、橋や沢の名称を記載した。



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
ハザードマップの改良、周知、活用	山北町	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
山北町、小田原市、秦野市、南足柄市、大井町、松田町、開成町